

株主のみなさまへ

第9期 中間株主通信

2015年4月1日から2015年9月30日まで



ダイキョーニシカワ株式会社

証券コード：4246



ごあいさつ

株主の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。
当社の第9期第2四半期連結累計期間（2015年4月1日から2015年9月30日まで）の連結業績につきまして、ご報告申し上げます。

2015年12月

代表取締役社長 内田 成明

第2四半期の業績について

当第2四半期連結累計期間（2015年4月1日から2015年9月30日まで）の連結業績は、主要販売先への売上増等により、売上高は前年同期と比べ18,045百万円（29.6%）増加の78,912百万円となりました。

営業利益は、増収効果やコスト低減活動等により、前年同期と比べ4,156百万円（99.4%）増加の8,336百万円となりました。経常利益は、前年同期と比べ4,122百万円（102.4%）増加の8,149百万円となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期と比べ3,343百万円（140.8%）増加の5,716百万円となりました。

通期の業績の見通しについて

通期（2015年4月1日から2016年3月31日まで）の業績予想につきましては、売上高は、主要販売先の生産増に伴う製品売上増等により、前回予想を上回る見込みとなりました。利益につきましては、増収効果やコスト低減活動等により、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益ともに前回予想を上回る見込みとなりました。売上高158,000百万円（前期比17.6%増）、営業利益15,500百万円（同25.5%増）、経常利益14,500百万円（同33.9%増）、親会社株主に帰属する当期純利益9,900百万円（同42.7%増）を見込んでおります。

配当について

中間配当につきましては、2015年11月10日開催の取締役会において、一株につき37円とすることを決議いたしました。

連結決算ハイライト

Consolidated Financial Highlights

主要連結財務データ

(単位：百万円)

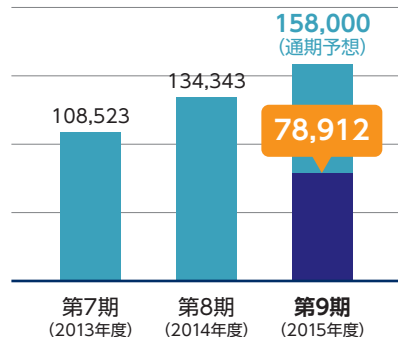
	第7期 2013年度	第8期 2014年度	第9期(当期)第2四半期 2015年度第2四半期
売上高	108,523	134,343	78,912
営業利益	7,932	12,353	8,336
経常利益	7,895	10,831	8,149
親会社株主に帰属する当期・四半期純利益	4,343	6,935	5,716
1株当たり当期・四半期純利益 (単位：円)	290.06	383.31	315.96
総資産	98,635	115,552	117,536
純資産	36,842	43,567	47,923
1株当たり純資産 (単位：円)	1,970.30	2,322.88	2,572.56

連結財務ハイライト

■ 第2四半期 ■ 通期

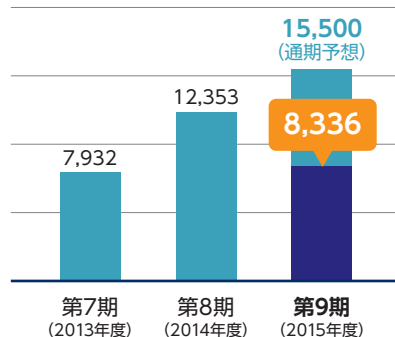
売上高

(百万円)



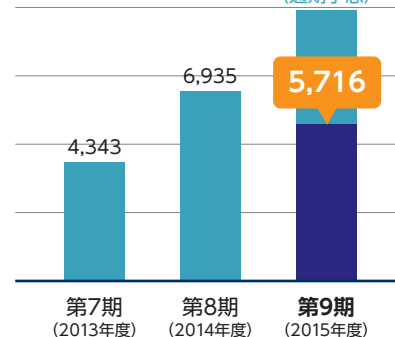
営業利益

(百万円)



親会社株主に帰属する 当期・四半期純利益

(百万円)



事業のご紹介

Introduction of business

ダイキョーニシカワは、国内の各自動車メーカー向け樹脂部品の分野で、材料ブレンド開発から、製品開発、設計、製造までを手がける総合プラスチックメーカーです。

自動車外装・外板部品



- バンパー
- フェンダー
- フード
- バックドア
- ルーフ
- ルーフラック
- スポイラー
- ラジエーターグリル
- リアガーニッシュ
- サイドステップモール
- 等

自動車エンジンルーム部品



- オイルストレーナー
- エンジンカバー
- インテークマニホールド
- シュラウドパネル
- シリンダーヘッドカバー
- パワステタンク
- 等

自動車内装部品



- インストルメントパネル
- コンソールボックス
- センターモジュール
- チェンジノブ
- スイッチパネル
- インジケータパネル
- アシストグリップ
- ピラートリム
- ドアトリム
- トランクサイドトリム
- 等

住宅関連



バスユニット部材

- バスタブ
- カウンター
- ミラーパネル
- 洗い場

洗面・キッチン部材

- 人造大理石キッチンカウンター
- ガラス繊維レス人造大理石製品

トイレタリー部材

- 便座

自動車のエンジンルーム部品

オイルストレーナー



エンジン毎に最適化された形状の
オイルストレーナー

当社では、これまで培ってきた高い技術力、多彩な生産設備により、自動車に関わるあらゆる樹脂部品を提供しています。

今回は当社の主要製品のひとつである、エンジン部品のオイルストレーナーをご紹介します。

オイルストレーナーとは？

エンジンオイル内の異物を取り除くための濾過器です。**オイルパン**からエンジンオイルを吸い上げる際、オイルストレーナー内部のメッシュで異物を濾過しています。普段は目にする事のない小さな部品ですが、異物によるエンジンの故障を防ぐ大切な役割を果たしています。

エンジン透視図



オイルパンとは？

エンジンの下部に取り付けられており、エンジンオイルを溜めています。

当社は樹脂製オイルストレーナーで高いシェアを誇っています。

樹脂製は軽いだけでなく、様々な形状に対応できるという特長を持ちます。近年では車の軽量化に伴いエンジン全体の小型化が進んでいるため、軽くて最適な形状に対応できる樹脂製オイルストレーナーの需要が拡大しています。

当社には、国内各自動車メーカー向けの多種多様な樹脂製オイルストレーナーの量産実績から蓄えたノウハウがあります。これからもお客様のご要望にお応えし、満足していただける製品づくりを目指してまいります。

分解すると…



TOPICS

インドネシアの工場が本格操業を開始

当社は、インドネシアの工場「PT.DaikyoNishikawa Tenma Indonesia」で本格操業を2015年7月より開始いたしました。

主な生産品目はオイルストレーナーをはじめとするエンジンルーム部品で、現地日系自動車メーカーに納入しています。



プラスチックのおはなし

ダイキョーニシカワの強み

当社は、常に新しい発見と可能性を追い求めています。

プラスチックについての当社の多彩な技術や、開発にかける熱い思いをお伝えします。

第3回 ■ 軽量化への挑戦

最近の車のCMは、「低燃費」をキャッチフレーズにしているものが多いと思われませんか？省エネルギー法に基づき、日本国内における乗用自動車の2020年度の燃費目標値は20.3km/L(JC08モード※)と設定されています。2009年度の実績値16.3km/Lから20%以上も燃費向上させた数値です。自動車業界ではこの目標値の達成に向けて、燃費性能の優れた車の開発に注力しています。

燃費を向上させる効果的な対応策の一つに、車の軽量化が挙げられます。鉄や鉄合金に比べ樹脂は比重が小さいので、同じ形状で比較すると鉄製より樹脂製の方が軽くできます。

当社では、軽量化に向けて様々な取り組みを行っています。薄肉バンパーの開発もその一つです。材料の剛性を上げたり、構造解析等の研究を重ね、肉厚が薄くても強度の高いバンパーを実現しました。薄くすることで、軽くだけでなく使用する材料も少なくて済み、環境性能の向上に貢献しています。



※JC08モード=国土交通省が定める燃費測定方法の一つ



ダイキョーニシカワ 開発担当者に聞く



Q どうして車が軽くなると燃費が良くなるのですか？



A 車に限らずですが、重ければ重いほど、動かすためには大きなパワーが必要で、そのパワーを作り出すために多くのエネルギー(燃料)が必要です。つまり、車が軽くなれば使うエネルギーの量が減るので、燃費が良くなります。



Q 鉄でできた車と樹脂でできた車では、どのくらい重さが違いますか？



A 車によって形状等が違うため、単純には比較できませんが、軽自動車では部品の一部であるフード、フェンダー、バックドア、フューエルリッドを樹脂製に変え、約10kgの軽量化に成功した実績があります。



Q オール樹脂の車を作ることはできますか？



A 「オール樹脂」を、「車を構成する約3万点の部品すべて」とすると、樹脂では難しい部品もありますが、外板に限定するのであれば、技術的にはオール樹脂の車を作ることは可能です。ただし、オール樹脂の車を市場に出すためには、安全面や価格面等クリアしなければならない課題がまだまだたくさんあります。

オール樹脂の車の実現のためにも、ダイキョーニシカワの挑戦はこれからも続きます。

会社概要

社名	ダイキョーニシカワ株式会社
本社	広島県安芸郡坂町北新地一丁目4番31号
設立	2007年4月1日
資本金	43億8,542万3,500円
従業員数	4,819名（連結）

会社役員

代表取締役社長	内田成明
代表取締役副社長	藪上富美高
取締役相談役	岡徹
取締役副社長執行役員	福島茂夫
取締役専務執行役員	横田善博
取締役専務執行役員	竹岡健次
取締役専務執行役員	桧山俊夫
社外取締役	久保田洋志
社外取締役	出原正博
社外取締役	圓山雅俊
常勤監査役	繁元則彦
社外監査役	安村和幸
社外監査役	廣田亨

グローバル事業拠点



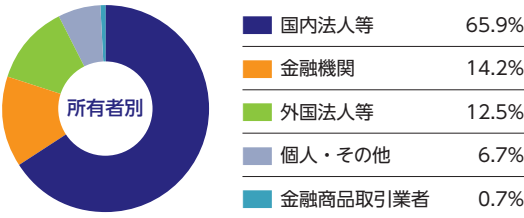
※上記の他に、連結子会社2社、持分法適用関連会社2社があります。

株式情報 (2015年9月30日現在)

株式の状況

発行可能株式総数	59,176,000株
発行済株式の総数	18,094,100株
単元株式数	100株
株主数	1,799名

株式分布状況



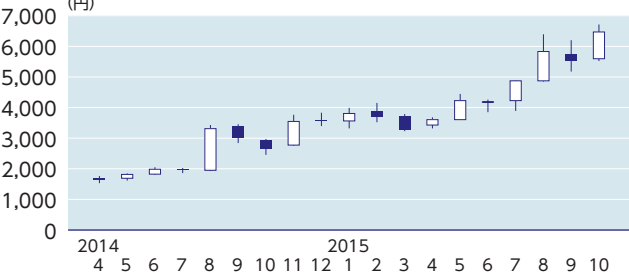
大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
HCP -1号投資事業有限責任組合	3,438,890	19.0
西川ゴム工業株式会社	2,958,800	16.4
株式会社イノアックコーポレーション	981,150	5.4
三菱商事プラスチック株式会社	981,150	5.4
株式会社広島銀行	903,600	5.0
住友商事株式会社	893,420	4.9
三井物産株式会社	805,680	4.5
マツダ株式会社	739,700	4.1
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	431,800	2.4
ダイキョーニシカワ社員持株会	331,811	1.8

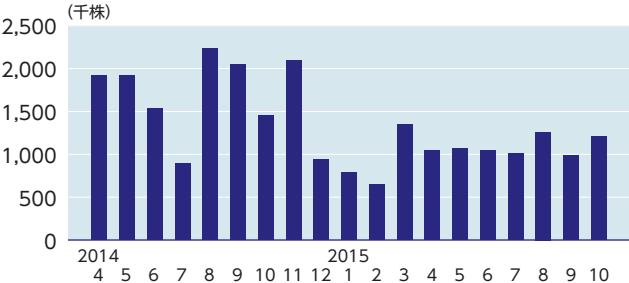
株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎事業年度終了後3ヵ月以内
剰余金の配当の基準日 期末配当3月31日 中間配当9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
0120-094-777 (平日9:00～17:00)
同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国本支店
公告掲載方法 電子公告
<http://www.daikyonishikawa.co.jp/>
但し、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

株価



出来高



ダイキョーニシカワ株式会社

TEL:082-885-9979

<http://www.daikyonishikawa.co.jp/>

